

平成 30 年度第 4 回安塚区地域協議会次第

日時：平成 30 年 6 月 26 日（火）

午後 7 時から

場所：安塚区総合事務所 3 階 301 会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 協 議

- (1) 地域活動支援事業に係る課題等について 資料 No. 1
- (2) 自主的審議事項「地域活動における人員不足について」
- (3) 安塚区地域協議会としての審議内容について

4 報 告

- (1) 次期総合公共交通計画の策定について 資料 No. 2

5 その他

- (1) 地域活動支援事業に係る変更申請について
- (2) 次回開催 平成 年 月 日（ ）午後 時 開会

6 閉 会

地域活動支援事業に係る課題等について

課題・意見・改善策等

1 制度全般について

※提案書内容の改善や市全体で設けるべき審査基準といった制度全般についての課題等を記入してください。

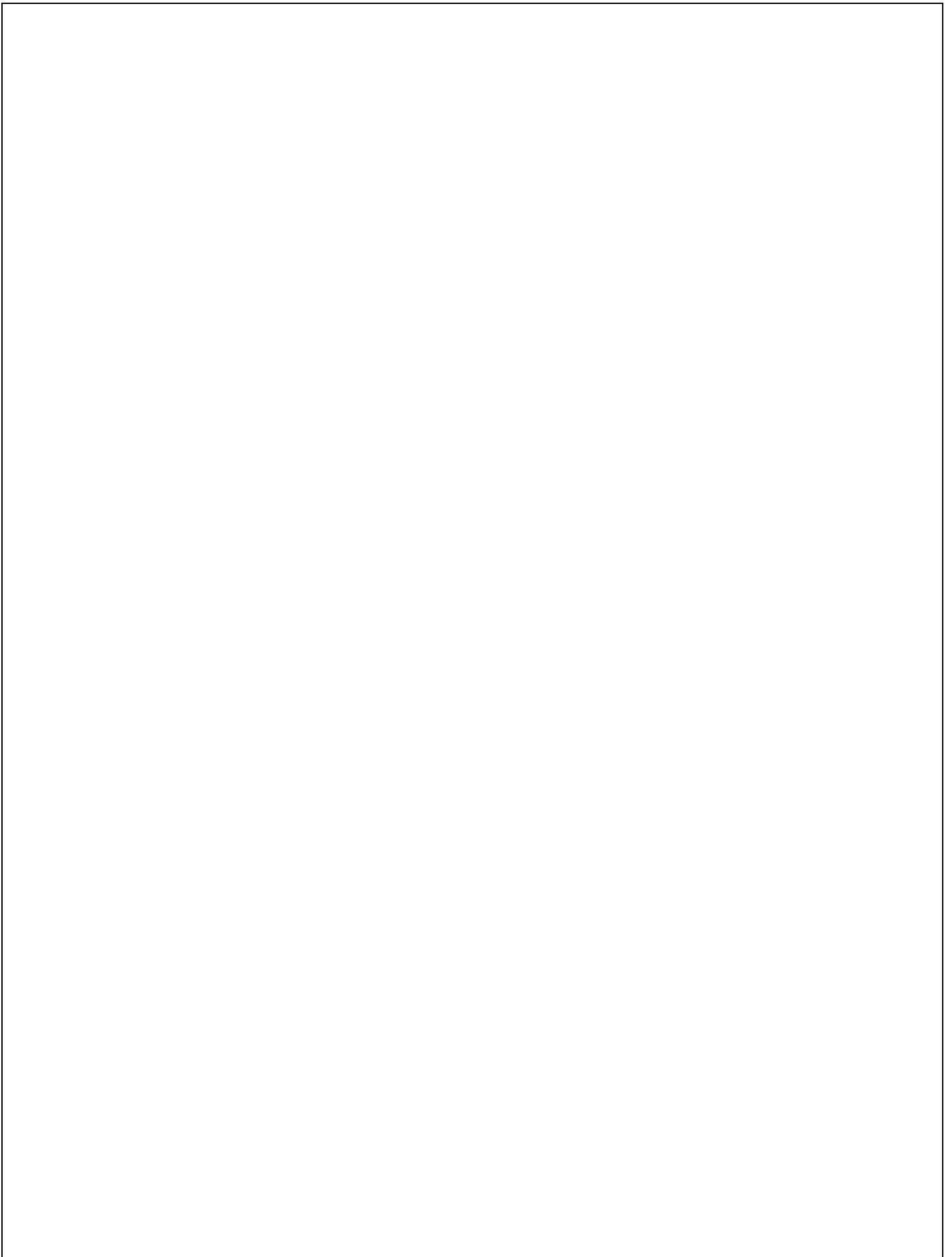
2 安塚区の採択基本方針について

※補助金額、助成回数や補助対象事業といった採択する際の基準についての課題等を記入してください。

3 プレゼンテーション・採点・審査方法について

4 その他全体に係る課題、改善点等

※平成 30 年 7 月 6 日までに事務局へ提出してください。
※記入欄が足りない場合は裏面に記入してください。

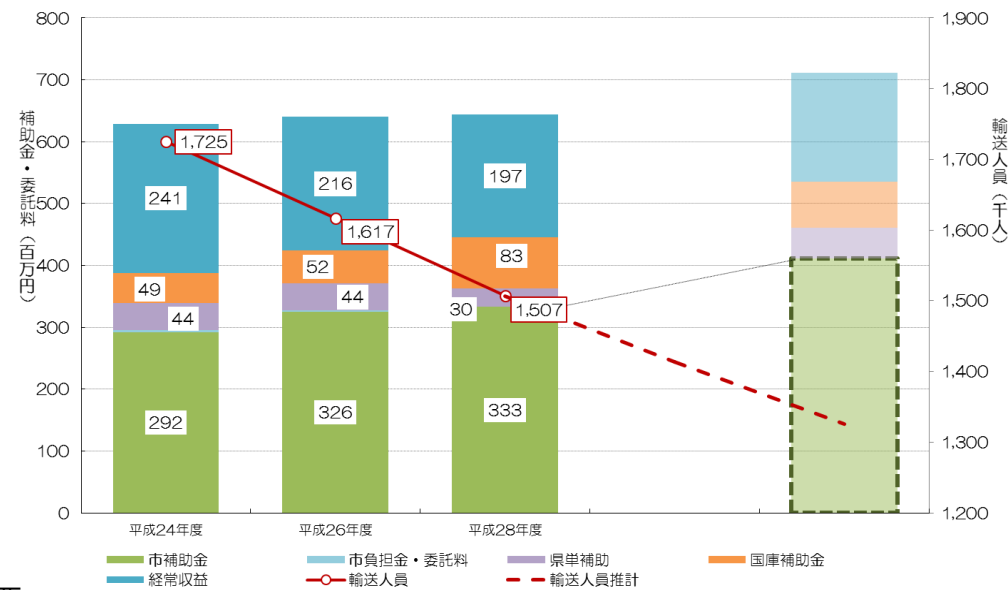


次期総合公共交通計画の策定について

1 計画策定の目的

- ・高齢化の進行や運転免許返納者の増加に伴い、これまで以上にきめ細かな公共交通を求める機運が高まっており、住民の需要を的確に捉え、利用しやすく、「乗ってもらえる」公共交通を再構築する必要がある。
- ・一方、少子化や人口減少、自家用車の普及が進む中、公共交通の利用者は減少傾向にあり、安定的な運行を維持するための市の財政負担は年々増大していることから、将来にわたって持続可能な公共交通を確保する必要がある。

■路線バス輸送人員並びに収入及び補助金の推移



2 計画の概要

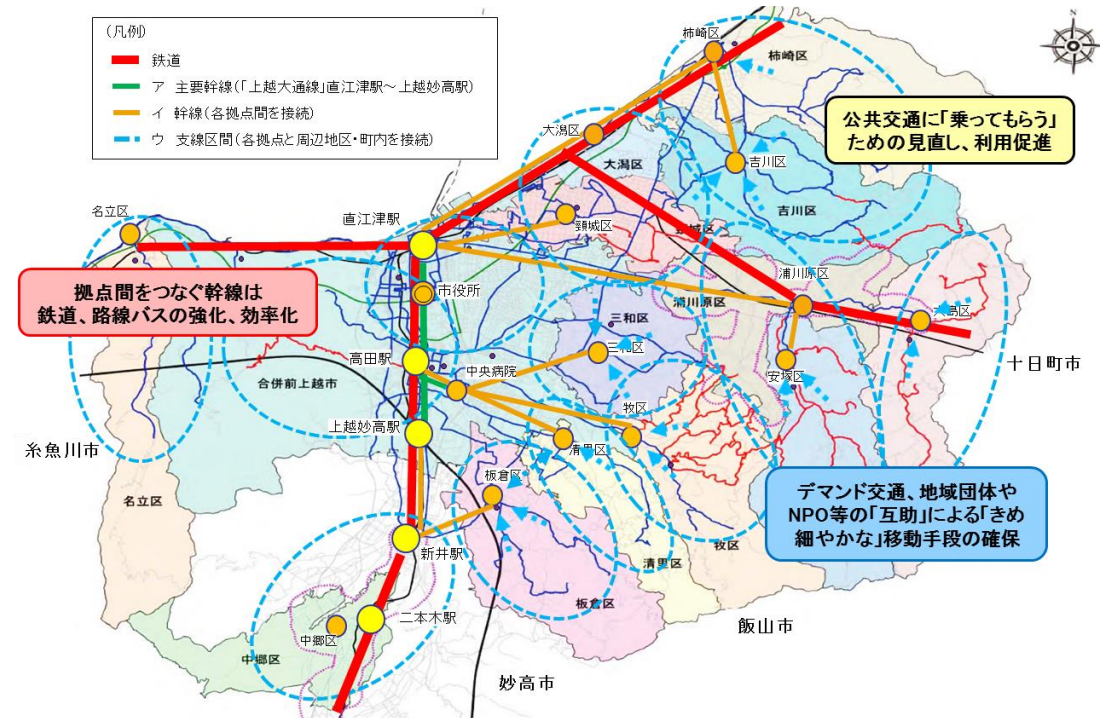
- (1) 計画区域 上越市全域
- (2) 計画期間 中間見直しを含め、平成 32 年度から 8 年から 10 年程度を想定
- (3) 公共交通ネットワークのイメージ

- ・バス路線を、基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定
- ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」や、地域住民のボランティアによる「互助・自助」による移送など、きめ細かで使いやすく、効率的な運行形態を設定
- ・公共交通の維持が困難となっている現状を共有し、住民の参加による検討

3 策定スケジュール

	市全体の検討	各地域における検討
～H30年 8月	・現行計画の評価、全市的な現状の把握 (市民アンケート、乗降調査等)	・各地域の現状の把握 (懇話会、地域の団体との意見交換等)
～H31年 2月	・地域公共交通網の見直し	・地域の再編案の検討、住民との協議等
3月	・計画の骨子完成	
～11月	・計画案の作成	・各地域の再編案の検討、合意形成
～H32年 2月	・計画案の完成、パブリックコメント	
3月	・計画の策定	

■公共交通ネットワークのイメージ



■支線における運行形態のイメージ

1人当たり利用頻度	利用人数/便				運行形態【市の支援】		運行本数
	多い	少ない	10人以上	4～9人	2～3人	1人	
○		○	○			定時	多い
	○					デマンド	
○				○		定時	少ない
					○	デマンド	
	○					デマンド	

運行形態【市の支援】

- 路線バス【運行補助】
- スクール混乗バス【市営】
- 乗合タクシー【運行補助】
- 自家用有償旅客運送【運行補助】
- 互助・自助による移送【車両維持費支援】
- 相乗りタクシー【運賃補助 週3回】
- 通院・買い物タクシー【運賃補助 週1回】

■移動手段の例

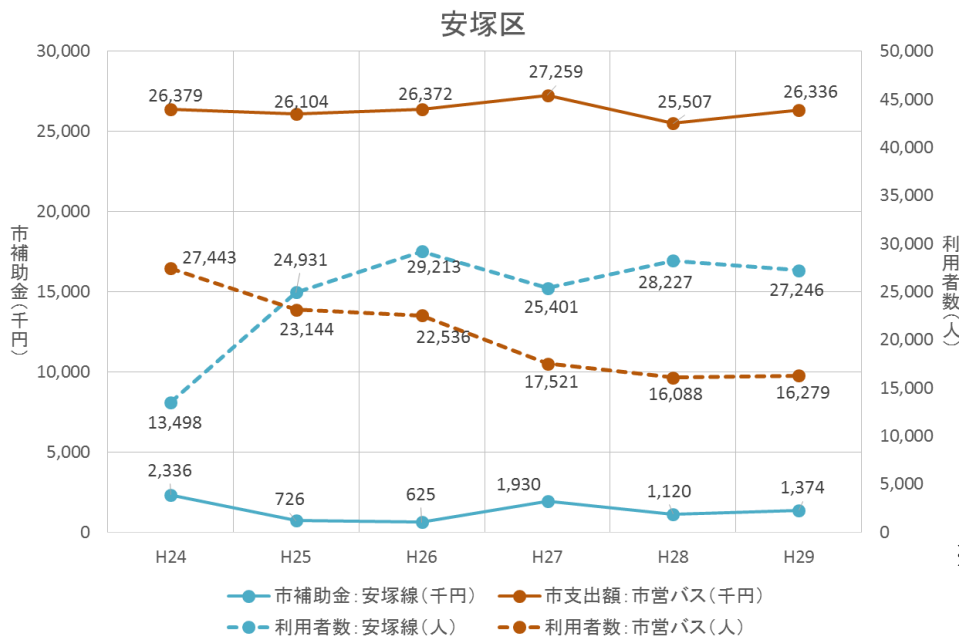
移動手段	内容
スクール混乗バス	・小中学生のスクールバスに、一般利用者也乗車 ※当市5区で運行
乗合タクシー	・タクシーやジャンボタクシーの車両を使用し、バスのように利用者を乗り合いで輸送 ※中郷区で運行
NPO等による輸送	・公共交通がない地域において、NPO法人や町内会等が、白ナンバーの自家用車でバスを運行 ※妙高市、長岡市、魚沼市で事例あり
民間企業等が運営する循環バス	・商店街などがバス会社へ委託などによりバスを運行 ※高松市丸亀町商店街振興組合「まちバス」
互助・自助による輸送	・地域の自治会やNPO法人が、自ら運行ルートやダイヤを決め、地域の助け合いで利用者を輸送 ※新潟市「住民バス」
タクシーの運賃助成	・タクシーの運賃割引を受けることができる利用券を配付 (相乗りは割引率が高い) ※前橋市で実施

安塚区的主要路線バスの状況

1 路線の概要

路線	運行経路	便数	
		平日	土休日
安塚線	うらがわら駅前～虫川大杉駅前～保健センター前	18	8
須川・伏野線(市営バス)	伏野・須川～和田小黒入口～保健センター前～安塚小学校	13	7
船倉線(市営バス)	上船～樽田～和田～本郷～安塚小学校	7	0
坊金線(市営バス)	細野～安塚小学校～本郷	10	0
行野線(市営バス)	行野公民館～本郷～安塚小学校	6	0
朴の木線(市営バス)	田舎屋前～和田小黒入口～保健センター前～安塚小学校	6	0
袖山線(市営バス)	本郷～保健センター～安塚小学校～松崎～板尾～安塚小学校	4	0

2 利用者数と市補助金の推移



※市営バスの利用者数には、小中学生の通学利用を含む。

3 収支状況

安塚線
(平日1日18便)

1便につき、 5.7人が利用しています。

平日1日の運行で、 約1万円の赤字が発生しています。

赤字の解消には、1便 4人が新たに利用する必要があります。

※当市の市営バスは、全てスクール混乗で運行している。

		(参考)		
H29年度	安塚線	市営バス	合計	(千円)
収入	4,124	656	4,780	
支出	6,807	26,336	33,142	
欠損	▲2,683	▲25,679	▲28,362	
国県補助金	1,308	0	1,308	
市補助金	1,374	26,336	27,710	
収支率	60.6%	2.5%	14.4%	